

# 『終わらない夏』



早鳴きのセミの声はなく  
 空には入道雲もない  
 夏を感じさせない風が  
 ただ吹くだけ  
 カウントダウンする日にちだけが  
 気持ちを駆り立てていった  
 どこが勝ちあがっても  
 おかしくない絶対王者不在の  
 この大会は梅雨の晴れ間に  
 スタートした  
 高校1年生の学年と二人三脚  
 一年間ずっと結果が残せず  
 あと1勝あと1点で  
 先輩と涙を流した経験は  
 決して無駄ではなかった  
 新人戦はフルセットで初戦負けするも  
 ノーシードでのぞんだ冬季大会は  
 予想をくつがえし優勝  
 第1シードでのぞんだ春季大会も  
 優勝した自信を確信にかえ優勝  
 そして迎えた平成から令和  
 一年生を5名むかいいれ  
 三学年で力を合わせてのぞんだ  
 最後の大会  
 初戦から事実上の決勝戦  
 来年がない佐織中女子の  
 強い覚悟にフルセットで  
 勝利をもぎ取った  
 この10年間の最大のライバル  
 弥富北中との死闘  
 先取されあとがなくなった  
 それでも諦めない  
 何度も何度も1点ずつを重ねた  
 何度も何度も両腕をつきあげた  
 ベンチも戦っていた  
 保護者も戦っていた  
 みんなで戦っていた  
 その結果つかんだ優勝  
 三年生最後の夏  
 私の最後の夏  
 その最後の夏に最高の結果  
 学校名が呼ばれる  
 戦ってきた12人が整列  
 賞状が手渡される  
 優勝旗が手渡される  
 選手一人一人にメダルを  
 かけてもらう  
 勝っても負けても忘れられない夏  
 心のなかに消えない記憶となる  
 ずっと心に残る終わらない夏